

平成30年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(雀宮地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

**平成30年度 第10回
まちづくり懇談会《雀宮地区》実施結果報告書**

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《雀宮地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成30年12月18日（火）午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 雀宮地区市民センター
- 3 参加者数 45人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，
雀宮地区市民センター所長，道路管理課長，広報広聴課長

5 懇談内容

(1) 地域代表あいさつ

雀宮地区まちづくり推進協議会

(2) 市長あいさつ

(3) 地域代表意見

No.	テ ー マ	所 管 課
1	「ネットワーク型コンパクトシティ」と雀宮地区のまちづくりについて	交通政策課 技術監理課
2	災害時要援護者の対応について	保健福祉総務課 高齢福祉課 障がい福祉課
3	雀宮南小学校に隣接する「交通公園」の活用について	道路保全課 学校管理課 ごみ減量課

(4) 自由討議

No.	要 望	所 管 課
1	さつき自治会等における交通問題について	交通政策課 技術監理課
2	災害時の避難場所について	危機管理課 河川課
3	茂原上神主遺跡の活用と市道の改良について	文化課 道路建設課
4	電柱の地中化について	技術監理課

5	学童保育について	生涯学習課
6	新川の改修について	河川課
7	笹塚古墳の管理と雀宮中心部の駐車場確保について	文化課 雀宮地区市民センター
8	広報紙での情報発信について	交通政策課 広報広聴課 L R T企画課
9	企業誘致について	産業政策課
10	田川サイクリングロードにおける休憩施設の整備について	道路建設課
11	雀宮駅西口の渋滞対策について	技術監理課 道路建設課

(5) 来賓あいさつ

市議会議員 篠崎 圭一, 中塚 英範 氏

(6) 市長謝辞

■地域代表意見 1 (要旨)

テーマ 1	「ネットワーク型コンパクトシティ」と雀宮地区のまちづくりについて
-------	----------------------------------

人口減少と超高齢社会を背景として、高齢者も安心して暮らすことができ、財政面や経済面においても、将来にわたり持続可能なまちづくりが大きな課題となっている。

住宅や商業施設、医療・福祉施設などがまとまって立地し、地域の皆さんが公共交通により、これら生活利便施設に容易にアクセスできるまちづくりを理念として、平成26年に都市再生特別措置法の一部改正により、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を基本コンセプトとする「立地適正化計画」制度が設けられ、現在、宇都宮市は「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりに取り組んでいる。

なお、雀宮地区のまちの様子をしてみると、雀宮地区の中心部は住宅・商店街に、東西周辺部は主に農業地域になっている。また、インターパーク地内には大型のショッピングモールがあり、地区内には宇都宮環状線、国道4号などの主要幹線道路が通り、北関東自動車道路宇都宮上三川インターチェンジに隣接するなど、雀宮は宇都宮の南の玄関口として栄えてきている。

そして、宇都宮市の進めている「ネットワーク型コンパクトシティ」における雀宮地域の位置づけは、「地域拠点」という位置づけとなり、雀宮駅を中心として市民センターや総合病院などが備わっているので、「住む」「働く・学ぶ」「憩う」など、市民の日常生活に必要なサービスを提供する都市機能がそろっていることから、今後の地域拠点の形成の方向性は、地域の特性と調和した都市機能を備えた自立性の高い拠点化を形成することになっている。

具体的に居住については、鉄道駅等を核に、歩いて移動できる範囲に一定の人口を集積するとともに、都市機能についても市民の日常生活を支援するサービス機能の配置・集積を図ることとされており、また、交通については徒歩や自転車、公共交通との結節点の整備を図っていくこととされている。

また、インターパーク地域には北関東最大の郊外型ショッピングモールがあり、市内はもちろん、市外や県外からも多数の来訪者がある。こうしたことから、南部地域全体の活力向上や、賑わいの創出につながるように公共交通ネットワークの充実や、交流人口の増加につながる土地利用の誘導などを行っていく拠点であると位置づけられ、郊外型商業施設の集積がますます活発になってくるものと思われる。

今後、「ネットワーク型コンパクトシティ」構想によるまちづくりが、引き続き、長期に亘り進められていくものと思っている。

既に平成30年8月「ネットワーク型コンパクトシティ」によるまちづくりに取り組みLRTの走る富山市(人口は約42万人)に出掛けたが、富山の市街地は大変きれいで、都市機能・都市美観の維持に努めるなど、快適な都市環境の実現に熱心に取り組んでいるように見受けられた。

宇都宮のまちなかも是非、より一層の自然と都市が調和した心豊かな住みよいまちづくりを目指していてもらいたいと思う。

私たちの住む雀宮にも独自のカラーがあり、昔の合併の経緯、歴史や地域のみんな

で育ててきた文化があり、それらを活かしながら地域の強みとして、持続できるまちをつくるために「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に期待をするものである。

そして、公共交通はその要になるもので、宇都宮市全体の公共交通ネットワークを作っていくためには、時間が正確、快適、環境にやさしいといった特性を持つLRTの整備、バスやデマンドタクシーの乗り継ぎのためのバスネットワークの再編や、車に対応した駐車場が確保されたトランジットセンターの整備、ICカードの導入やそれに伴う乗り継ぎの割引料金なども検討されるものと思っており、総合的な公共交通を創っていくことがこれからの超高齢社会には大いに大切なものと思っている。

今後、雀宮地域としての課題は、多くのネットワークで結ばれて利用しやすい公共交通であり、特に「地域拠点」である雀宮駅と「インターパークエリア」を結ぶ、道路整備とバス路線の確保をどのように考え進めていくのか、回答をお願いするものである。

回 答	所管課： 交通政策課， 技術監理課
------------	--------------------------

【市長】

雀宮地区は、本市における南の玄関口として、JR雀宮駅を中心とした地域拠点に位置付けられている。

本地区は、北関東自動車道路に隣接するとともに宇都宮環状線や国道4号などの本市の骨格を形成する主要な幹線道路をはじめ、県道安塚・雀宮線や雀宮・真岡線などの幹線道路による道路ネットワークが形成されている。

そのような中、本市においては、ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けて、現在も雀宮駅西口の道路整備をはじめ都市計画道路などの道路整備を優先的に進めているところであり、「雀宮駅とインターパークエリアを直接結ぶ道路整備」については、現在の交通需要などを踏まえ、既存の道路ネットワークを維持することとし、新たな道路整備については、今後、雀宮地区の交通状況の変化を見極めながら、必要性について判断していきたい。

次に、「雀宮地区の公共交通」については、地区内にJR雀宮駅を有し、南北方向の交通軸として、市民の通勤・通学などに対応するとともに、本市と首都圏を結ぶ公共交通ネットワークにおける本市南部地域の玄関口として重要な役割を担っている。

また、国道4号線を南北に運行する幹線バス路線や、多くの住宅地を経由する「さつき団地線」に加え、平成30年4月から「今宮線」がJR雀宮駅へ延伸されるなど、バスネットワークの充実が図られているところである。

さらに、雀宮地区においては、地域の皆様の尽力により、平成25年9月から地域内交通「おでかけちゅんちゅん号」が運行されており、JR雀宮駅西側にお住いの皆様の日常生活の移動手段として定着している。

この地域内交通は、JR雀宮駅西側の地元商店街に配慮しながら、インターパークも目的施設に設定しているところである。

ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けては、身近な地域拠点の充実と併せて、拠点間を公共交通で結ぶことも重要であり、インターパーク周辺は、住宅の張り

付きや企業の進出があることから、路線バスについても、今後のバス路線再編の中で、地域拠点であるJR雀宮駅とインターパークを結ぶ路線について、移動需要を見ながら、バス事業者とともに検討していく。

■地域代表意見 2（要旨）

テーマ 2	災害時要援護者の対応について
--------------	-----------------------

全国各地で大規模な自然災害が発生している中、本市では、「災害時要援護者支援制度」により、災害時に自力で避難することが困難で、避難支援を希望する方を「災害時要援護者名簿」として整備し、現在、雀宮地区においても名簿を管理しているところである。

しかしながら、この「災害時要援護者名簿」に登載されている方は、あくまでも希望があった方のみであり、それ以外の方の中にも、避難支援が必要な方がいることも想定され、地区の民生委員の方々の日頃の活動の中で把握している情報もあるかと思う。

災害発生時には、まず、自分や家族の身の安全を確保することが先決ではあるが、避難を必要としている方を一人でも多く助けるため、避難支援の希望の有無に関わらず、支援を必要としている方の情報を自治会等へ事前に一括して提供いただければ、災害時における要援護者の支援活動の強化が図られると考えられる。個人情報保護の観点から、難しい面もあるかと思うが、回答をお願いするものである。

回 答	所管課：保健福祉総務課，高齢福祉課，障がい福祉課
------------	---------------------------------

【市長】

宇都宮市の災害時要援護者名簿は、各地区から提出されているが、雀宮地区の登録者数が1番多い状況になっている。

本制度は、災害が発生した際、自力で避難することが困難で、避難支援を希望する方について、日頃から、誰が支援し、災害時どこへ避難させるかなどをあらかじめ地域住民同士で決めておく「地域ぐるみの助け合い」の制度であり、本市では、地域の御協力をいただきながら、災害時に避難支援が必要な「要援護者」や地域において決められた「避難支援者」、「避難場所」を取りまとめた、「災害時要援護者名簿」を作成しているところである。

この「災害時要援護者名簿」は、登録している方の情報を平常時から地区で組織する地区支援班に提供することにより、日頃からの声かけや見守りに御活用いただくとともに、災害発生時には、「要援護者」や「避難支援者」、「避難場所」があらかじめ決められているため、迅速な対応が図れることから、本市としては、積極的に、この名簿の整備・活用を進めていきたいと考えている。

御提案の市が保有する個人情報の提供については、個人情報の保護の観点から、難しいことを御理解いただきたい。本市においては、避難支援に効果の高い本制度を積極的に推進するため、各地区支援班や地域住民への説明会の実施、市窓口でのチラシ

の配布、ホームページへの掲載など、さまざまな方法によって、市民の本制度に関する理解促進に努めてまいるので、地域においても、日頃からの近所付き合いや地区支援班の活動などを通して、災害時に支援を必要とする方の把握や、本制度への登録の勧奨について取り組んでいただき、地域と市の両輪の取組によって、制度の充実を図りたいと考えているので、是非、御協力をいただきたい。

■地域代表意見 3（要旨）

テーマ 3	雀宮南小学校に隣接する「交通公園」の活用について
-------	--------------------------

雀宮南小の北東角にある4差路の交差点は、歩行者だまりがない場所に横断歩道が設置されているほか、敷地が鋭角で電柱もあるため見通しが悪く、事故も発生している状況にある。

また、学校や隣接する雀宮体育館でイベントが行われる際には、駐車スペースが不足することもあり、雀宮体育館は大型バスの進入が困難な状況にある。

雀宮南小の北東側には、交通公園があり、あまり利用されていないように見受けられるが、今後、交通公園として活用されないのであれば、この敷地を活用して、交差点の隅切りなどの安全対策や、小学校の利用者や体育館を利用する大型バスの駐車場のほか、学校や地域のイベントスペースとするなど、有効に活用することができないか検討をお願いするものである。

回 答	所管課： 道路保全課， 学校管理課
-----	-------------------

【市長】

【交通公園について】

「交通公園」については、昭和44年3月に竣工し、児童等へ交通安全指導を行うことを目的とした施設である。

使用開始以降、学校における交通安全指導の場として雀宮南小学校以外の児童等も含め長年使用されてきたが、現在では、交通安全指導は校庭で実施するなど、交通安全指導の機能は終了したと考えている。

現在でも学校の敷地として、交通公園の一部を学校農園などで活用していることから、今後も学校教育や地域と連携した学校行事などにおいて有効に活用できるよう検討していく。

【交差点の隅切りについて】

当該交差点の安全対策については、地域からの要望を踏まえ、現在、通行車両の見通しや歩行空間の確保のため、学校敷地の一部分を活用した交差点の隅切り工事などについて検討を進めており、地域の皆様の御意見を伺いながら、まずは歩行者の安全を確保するため、歩行者だまりの整備について、今年度の実現に向けて取り組んでいく。

再質問	雀宮南小学校に隣接する「交通公園」の活用について（２）
------------	------------------------------------

当初、東京ガスの変圧器を設置する際、隅切りをするために、変圧器の設置位置を南にした。

また、学校の敷地内には、ごみステーションを設置できないとあり、現在は、隅切り部分にごみステーションが設置されている。

歩行者だまりを作っても、ごみステーションで覆われてしまうのではないか。

回 答	所管課：ごみ減量課，道路保全課
------------	------------------------

【市長】

歩行者の安全のため、歩行者だまりとごみステーションの件について、解決できるように進めていく。

■自由討議（要旨）

発 言 1	さつき自治会等における交通問題について
--------------	----------------------------

ネットワーク型コンパクトシティの中で、検討されていると思うが、さつき周辺において、交通事情が様変わりしている。

下野市にスマートＩＣ（インターチェンジ）ができると新聞に記載されていたが、ＩＣの整備により、栃木県総合運動公園へのアクセスが便利になると、中間であるさつき・雀宮周辺の交通安全・安心対策が心配されるので、検討をしてほしい。

回 答	所管課：交通政策課，技術監理課
------------	------------------------

【市長】

下野市にスマートＩＣ（インターチェンジ）ができることにより、本市がどれだけ影響を受けるか計り知れないが、雀宮・陽南・緑地区は、県総合運動公園（総合スポーツゾーン構想）により、車の流れが大きく変わると考えている。

また、大規模なスポーツ大会の開催時などを想定し、車のシミュレーションや駐車場のあり方などを県で協議し、公共交通をどのように利用して会場に来ていただくか検討しておかないと、交通渋滞が頻繁におこる可能性があり、シャトルバスや、今宮線を雀宮駅まで延長して運行させるなどの対策を併せて行い、交通渋滞が今より酷くならないように対応をしていく。

国においても、国道４号の整備が始まっているが、さらに北側についても整備を考えているので、市としても協力をし、国・県・市が連携した対応策をとっていく。

発 言 2	災害時の避難場所について
--------------	---------------------

数年前の集中豪雨の際、田川は氾濫しなかったが、当初、田町与橋を渡って雀宮東小学校に避難するよう指示が出た。

過去には、田川の雀宮東小学校側近くの堤防が崩れて修繕した経緯もあることから、何人か避難していたが、非常に不安で危なかったとの声があった。

地震や洪水の際の避難場所は、宇都宮南高等学校になっているが、なぜ、この時は宇都宮南高等学校ではなかったのか。

自治会としては不安を感じているので、検討してほしい。

回 答	所管課：危機管理課，河川課
------------	----------------------

【市長】

近年の豪雨による大きな災害を踏まえ、国からの指導により、全国的に洪水ハザードマップの見直しが行われている。

昨年度、鬼怒川の洪水ハザードマップが改訂され、鬼怒川流域の地区への説明会が昨年終わった。

今年度、田川についても、洪水ハザードマップの見直しを図っており、避難場所の見直しも併せて行っている。雀宮地区の田川流域の避難場所も変わる可能性がある。

マップが完成した際は、各地区で説明会を行うので、御参加いただきたい。

また、地区市民センターで、説明できるような体制にし、説明会に御参加いただけない方への対応をしてまいりたい。

発 言 3	茂原上神主遺跡の活用と市道の改良について
--------------	-----------------------------

遺跡を公園にするという事で、買収をしてから10年が経過しているが、揭示版があるだけで、そのままの状況である。

公園を一体的に整備するのは、予算の関係上、難しいと思うが、簡易な駐車場やトイレを作り、ウォーキングコースを作ることで、魅力ある雀宮地区のまちづくりの一貫となるのではないかと思うが考えを聞きたい。

また、陸上自衛隊宇都宮駐屯地東門（正門）から東に進み、JR宇都宮線を越えて、宇都宮市クリーンパーク茂原（清掃工場）に向かうと90度のカーブがある（市道710号線と市道5198号線の結合部）安全性に問題はないのか、市として安全対策を考えているのかを聞きたい。

回 答	所管課：文化課，道路建設課
------------	----------------------

【市長】

上神主・茂原官衙遺跡の整備については、上三川町と一緒にしている事業で長い時間をかけて行う事業であると認識しており、慎重に整備を進める必要があるため、要望・提案を国に伝えて協議をしながら進めていく。

【道路管理課長】

現地を調査した上、改めて回答をする。

発言 4	電柱の地中化について
-------------	-------------------

小金井駅周辺や石橋周辺では、電柱が地中化されているが、南の玄関口である雀宮になると、クモの巣のように電柱や電線が目立つので、地中化の計画を聞きたい。

回答	所管課：技術監理課
-----------	------------------

【市長】

東京都の小池知事が、災害対策としてすべての電柱の地中化を行うと表明した。宇都宮市としても、景観上も良くなるため、積極的に進めたいと考えている。

中心市街地では、オリオン通りの南側一部、ユニオン通りの地中化が、もうすぐ完成する。

住んでいる方と東京電力の理解が必要であり、行政単独では進められないことや、国の予算も付かない状況であるため、今後も調整をしながら電柱の地中化を進めていく。

災害時などに、救急車や消防車などの緊急車両や物資輸送の車両が通行できなくなるなど踏まえて、どこから進めていくか計画を作り、必要なところから進めていく。

発言 5	学童保育について
-------------	-----------------

21年前は子どもの家の所管は、児童福祉課であったが、今では教育委員会の生涯学習課になっている。設立当初、指導員は宇都宮市の雇用であったが、現在では、各子どもの家が直接雇用している。

児童数により、指導員の人数が決められ、児童数が基準を満たさないと指導員を解雇しなければならない。指導員の身分が不安定になり、市では、他の子どもの家に斡旋すると言っているが、どうなのかと思う。

働き方改革や働く人を大切にするとき、来月から来なくていいですと言えるか切実な問題である。

指導員や子どもの家の負担が増加し、保護者の会費も増額を余儀なくされている。

また、給与計算や社会保険など、各子どもの家で算定するため、外部に委託し、負担もしている。

指導員の身分安定と子どもの家の負担軽減を検討してほしい。

回答	所管課：生涯学習課
-----------	------------------

【市長】

宇都宮市の学童保育では、小学校1年生から6年生まで、受け入れる体制を整えている。

児童数の受入れが多いため、余裕教室を積極的に活用し、余裕教室の活用が難しい

場合には、別棟の建築などの対応をしている。

子どもの家ごとに、事情やサービス内容が異なるため、全体的に見直しを図っている。

【参考】

本市では、利用児童数に応じた指導員人件費を各子どもの家等へ支出しているが、児童数が減になった場合、必要人数を超える指導員については、指導員を募集している他の子どもの家等を紹介するなど対応している。

また、職業安定法に基づく厚生労働大臣の許可などが必要となる斡旋は行っていない。

発言 6 新川の改修について

毎年、集中豪雨により、川の水が溢れている。

さつき自治会を流れる新川の下流や流れ込む支流で溢れ、道路冠水や車庫冠水、道路側溝が流れないなどの被害があった。

気象状況が悪化する中、河川を改修することで解消されるのではないかと思う。

今宮地区に調節池を作り、水量を調整すると聞いているが、調節池の進捗状況や河川改修の計画について聞きたい。

回答 所管課：河川課

【市長】

新川については、江曾島に調節池を作っているところであり、整備は約30パーセント進捗しており、来年度には、調節池の供用を一部開始できるように取り組んでいく。

できるところから対応していくので、御理解いただきたい。

発言 7 笹塚古墳の管理と雀宮中心部の駐車場確保について

東谷地区は、笹塚古墳を始め、多くの古墳が存在する。

地権者が古墳を管理しているが、高齢化により管理がおぼつかない状態であるので、市が中心となって、ボランティアを募り、管理を行ってほしい。

また、雀宮中心部の店舗が少なくなっているのは、車で行っても駐車場が無く、止める場所が無いからであり、近くの空き地を利用して、市が仲介をし、駐車場を確保してほしい。

回 答	所管課：文化課，雀宮地区市民センター
------------	---------------------------

【市長】

市内には、東谷地区をはじめ古墳等が多くあり、建物についても、旧篠原家住宅など貴重な文化財がある。所有者に話を聞いて、市ができる対策を取っている。

市としてどのような支援ができるか、また、ボランティアについても、地権者と協議をさせていただき、どんな対応が可能かを検討するので、地権者をお知らせいただきたい。

また、駐車場については、中心市街地のオリオン通りを中心とした街中の例で説明すると、10数年前は人通りが少なく、寂れている・シャッターが閉まっている店があった。駐車場を作ってほしいとの要望があり、「コインパーキングの街」と言われるほど駐車場が増えたが、結局人通りは増えなかった。

一方で、家賃補助や内装補助など、様々な対策を行うとともに、イベント等の実施、魅力ある店があることなどで、人が増えることがわかった。

まちづくりは、同じことをどこの場所で行っても成功するとは限らないので、雀宮地区ならではの考え方が必要である。

駐車場の整備は、市が斡旋や仲介できないので、まちづくりを進めていく方々が、中心となることで良い道が開かれるのではないかと思う。

発 言 8	広報紙での情報発信について
--------------	----------------------

広報紙を良く読んでいるが、LRT問題が多く取り上げられており、JR宇都宮駅西側の整備についても、目的があると思うので、それに対する言葉が少なく、手段としての路線バスやネットワーク型コンパクトシティの話がでてくるが、関係する地区は限られ、雀宮地区は関係ないという意識になると残念である。心の問題や住みやすい気持ち、ハードなことではないが橋梁や道路など宇都宮市の資産だけでなく、目的や関わる内容を入れることで、雀宮地区でも理解され、物事が早く進むと思うので考えてほしい。

回 答	所管課：交通政策課，広報広聴課，LRT企画課
------------	-------------------------------

【市長】

広報紙は、行政の仕事をわかりやすく示し、行政との市民協働について、御理解いただくよう、心がけて作成している。

ホームページも同じく、様々な媒体を活用して、行政の仕事を市民に知っていただくことを目的としている。

内容についても、高齢者も読みやすいよう、字数や枚数が多く読みづらくなならないように心掛けている。

様々な角度から、読みやすい、わくわくするような、夢を持てるような広報紙にしていく。

発言 9 企業誘致について

下野新聞に、宇都宮市が新産業団地の造成に向け候補地の調査検討を進めている、との記事が掲載されていた。

茂原の近くでは、ジョイフルホンの南側で、上三川町石田地区で流通団地の整備が正式に決まった。

下野スマートIC（インターチェンジ）が下野市に整備される予定であるが、宇都宮市としても、活用することが必要であり、高度産業や研究施設があれば雀宮地区の発展にもつながると思うが考えを聞きたい。

回答 所管課：産業政策課

【市長】

宇都宮市にある工業団地は、すべて完売しており、本市としてまとまった土地が提供できない状況にある。

宇都宮市の南部地域で、工業団地が造成できないか検討し、10か所の候補地を選定し、比較・検討を行っている。

宇都宮市の人口は、流出人口が一部超過している世代があり、20・30・40代の女性で同じ年代の男性と比べると、約1万人少ないのが現状である。

これは、東京の大学・短大・専門学校を卒業して就職する際、オフィス系の仕事を探しても、宇都宮市より、就職先が多い東京を選んでしまい、宇都宮市に戻ってこないため、人口が流出して減っていることが考えられる。

定住人口を増やすために、工業団地の造成が必要であることと、併せて工業系だけでなく、研究機関や本社機能の移転、事務職を雇用するオフィス系企業の立地について、積極的に東京圏を中心として、全国に働きかけていきたいと考えている。

本社機能は、オフィス系が多いので、バランスの取れた人口の減りにくい都市構造になっていくと考えている。

そのためには、宇都宮市を選択していただけるよう魅力を増やし、維持することを心がけ、宇都宮市が人口減少や超高齢化社会の大きな転換期の中にあっても、安心して幸せに生活ができ、これから生まれてくる子どもたちの夢が叶う街を作っていく。

発言 10 田川サイクリングロードにおける休憩施設の整備について

下野市のサイクリングロードには、姿川アメニティパークや蔓巻公園などの施設があり、休憩ができる。

雀宮地区は、田川と姿川に挟まれ、両方サイクリングロードがあるが、田川のサイクリングロードは、休憩施設などもなくあまり利用されていない。

河川の管理は、国・県であるが、「自転車のまちうつのみや」を推進している宇都宮市としても、市の健康増進や余暇活動の活性化として、休憩する場所の整備などを検討してほしい。

回 答	所管課：道路建設課
------------	------------------

【市長】

田川を含め、山田川・鬼怒川・姿川のサイクリングロードの整備の必要性を感じている。

できるところから整備を行っており、市民の誰もが安心して、自転車で運動を楽しむことができる「自転車のまちうつのみや」を目指していきたいので、休憩エリアの整備なども考えていく。

発 言 11	雀宮駅西口の渋滞対策について
---------------	-----------------------

雀宮駅西口の整備が完了したが、夜は電車で帰ってくる人の迎えの車で駅周辺は混雑しており、駅に行きにくい状態である。

現在、歩道の両側整備をしているが、広くもったいないと感じるので、歩道を迎えの車専用レーンにするなど、工夫することで解消されるのではないかと。

先日、市議会へ行ったときに、篠崎議員から同じ内容の質問をされたようであるが、詳しく説明を聞きたい。

回 答	所管課：技術監理課、道路建設課
------------	------------------------

【市長】

駅の橋梁駅舎ができて、素晴らしい雀宮駅が誕生したが、送迎の車と通過する車の動線が悪く、綺麗になって整備が完了したにもかかわらず、そのような問題が起きて、地元の皆様や利用する方々に大変御迷惑をおかけしている。

市として、当初計画上考えていた車・駐車あり方に固執することなく、渋滞が起これないように対応していきたい。

国道4号から駅に向かって、駅前広場手前T字路の右折レーンの不足や、雀宮中央小学校から駅に向かって同T字路の左折などの影響により、渋滞が起こるので、今の道路幅を活かして動線が良くなり、渋滞にならず車が動くことができるよう考えている。

市だけでは対応できないことから、警察の意見も聞き、渋滞が起これない、起これにくい状況にしていく。